

# 常任委員会審査報告

## 総務

10月22日執行の衆議院選挙経費、  
3559万2千円

**(問)** 選挙執行に関わる報酬、職員手当等、賃金の内容は、公営掲示板数と設置費用は。

**(答)** 報酬は、期日前投票所、当日の投票管理者及び立会人、当日の開票立会人等延べ211人。職員手当等は定められた単価により188人。賃金は期日前投票所及び当日の受付事務等臨時職員65人に支払うもの。公営掲示板は172カ所に設置。費用は約262万円、1カ所あたり1万4100円と消費税である。

企業の設備投資により  
固定資産税が増額に

**(問)** 固定資産税の増額理由と当初予算への見込みはどうか。

**(答)** 主に奥原工業団地内の大企業2社が大型の設備投資を行ったことで固定資産税が増額となった。固定資産税の償



スクールバス

却資産の申告時期が1月末となっている。通常の予算編成は10月～1月に行うため、当初予算に見込むことは難しい。

コミュニティバスの補償金増額

**(問)** 補償金の増額理由と今後は。

**(答)** バス利用者の減により610万円の増額。主な原因は、新たな私立高校バス運行の開始や団塊世代の退職等である。さらに、国庫補助の上限が平成26年度より毎年下がっており、30年度も下がると見込んでいる。今年度の補償金は約5千万円を見込んでいる。

54人乗り公用バスを購入

**(問)** 現在の公用バスの所有台数は。

**(答)** 民間団体等が使用するバス、学校行事など送迎バス、福祉巡回バス、奥野小スクールバス、奥野小、牛久二中へのキャンパスバス※で合計8台を所有。

**(問)** 買い替えの対象となるのはどういふ場合か。

**(答)** 買い替えは走行距離や故障頻度、修理等で部品が確保できなくなるなどである。5台がすでに距離40万キロを超えているので、2023年頃に買い替えを考えている。

審査の結果、議案第64、65、68、74、75号は全会一致により可決すべきものと決した。

※小規模特設校であるおくのキャンパス（奥野小、牛久二中）と西部地域を結ぶスクールバス。

## 教育民生



岡田小児童クラブ

児童クラブ支援員の  
派遣委託のための条例改正

**(問)** 今定例会の一般質問で市長は、「教育に業務委託はなじまない」と答弁している。今回の支援員の業務委託の改正案との整合性は。

**(答)** 委託には、児童クラブの運営を委託するものと、支援員の派遣を委託するものがあり、市長の答弁は現職の支援員の職を奪うような委託については実施する考えはないというものである。支援員の欠員を補うための人材派遣の委託について否定したのではない。

**(問)** 支援員の補充が目的の改正案なのか。

**(答)** 業務委託と人材派遣の両方の委託が可能となるが、市としては人材派遣の委託を実施していきたい。

民間保育園の保育士の  
処遇改善手当増額

**(問)** 処遇改善は何人分に充

てられたのか。

**(答)** 二通りの処遇改善があり、一つは従来からのもので、施設に勤務する全員が対象となり、加算率が2%多くなつて、全体で約2200万円増える。もう一つは副主任保育士等の職責に応じたもので、約2900万円の増加と試算しており、現在市内で79人の申請がある。

ひたち野うしく中学校の建設費

**(問)** 建設費の財源の内訳と確保のめどはどうか。

**(答)** 補助金が約7億3千万円、起債が約26億4千万円、一般財源が約6億3千万円であり、補助金については、来年度、再来年度の2カ年分を国に要望している。

第7期の介護保険事業計画の状況

**(問)** 介護保険運営協議会で第7期の保険料などはどのように検討されているか。

**(答)** 第7期のなかで、給付費の伸び等を勘案して協議会で審議している。第6期の保険料は4800円となつているが、急激な上昇を抑えるように介護給付費準備基金を適切に投入していきたい。

審査の結果、議案第67、68、69、72、76、77号は全会一致、議案第66、71号は賛成多数により可決すべきものと決定した。請願第5号は、賛成多数により閉会中もお継続審査とすることに決定した。

## 産業建設

農地中間管理事業の推進

**(問)** 事業の内容及び継続性は。

**(答)** 県が機構（農地バンク）を作り農地の貸借に対して、担い手への集積・集約化を推進する事業。県が100%補助、今回は小坂、桂地区で実施。来年度まで県補助は交付されるが、その後は未定である。市独自の補助は現段階では考えていない。しかし、県内では牛久市がモデル地区として注目されているので、今後も継続していく事業であると考えている。

空家対策課に  
非常勤職員1人増員

**(問)** 空家の監視体制は。

**(答)** 今年度、県南水道から水道使用量のデータの情報提供を受け、新たに200件の空家を確認した。これらを台帳に登録して、適正に管理されている空家は有効活用を検



根古屋川調整池用地

討し、管理不全の空家は文書等で助言、市内巡回で対面指導していく。

調整池整備で土地取得

**(問)** 整備計画の内容は。

**(答)** 雨水排水対策で根古屋川緑地整備事業計画地のうち、調整池整備としての用地を取得。2万5905㎡、7840万1920円で買収。地権者14人のうち1人が氏名公表に同意していない。調整池に排水は常には貯めない計画である。

圏央道等に関する意見書案

圏央道の県内通過部分の全面開通により、増大する交通量に対応するために4車線化の早急な実施と牛久市内にサービスイリアやスマートICの設置を求めるもの。

委員からは、設置となった場合の費用はどかが負担するのかについて意見が出された。審査の結果、議案第68、70、73号は全会一致により、また意見書案第11号は具体的な内容を含め再度調査をするために継続審査が提案されたが、賛成少数で否決となり、原案どおり可決すべきものと決定した。

閉会中の事務調査では、①エスカード牛久ビル活性化に対する調査②牛久駅周辺活性化に対する調査研究をすることを委員会として提案され、全会一致により可決となった。

守屋常雄議員



(質問) エスカード牛久ビルの活用について何度も質問しているが、市民が利用できる公共施設として活用できる具体策、またこの件についての市税投入はやむを得ないと考えるが。

でも2階には物販店舗を誘致することを第一に考えると、ご指摘の平成31年の市

(建設部長) 国の情報提供も同時に販売が容易になると思うが。



エスカード牛久ビル

### エスカードの活用

(市長) 2階から上の空きフロアについては

が取得する予定の交渉は市の優位性が認められる取得価格になるように交渉していく。

### 空き地対策

(質問) 空家バンクの物件情報に加えて空き地の情報提供も同時に

高まっている。さらに県内では利根町でスタートしている。今後は空家の解消状況を見ながら検討していく。

小松崎伸議員



### 牛久市スポーツ施設の今後の利用

(質問) 平成31年に開催される茨城国体の各都道府県代表チームへの事前合宿等の誘致は。

(経営企画部長) 牛久市として何ができるのかを吟味し、県や各種団体と連携し対応していく。

(質問) 地方では企業も少なく、就職支援は喫緊の課題であり、新たな取り組みは。

(市長) 今年度、牛久市商工会において「マイトアウン」を



建設工事中の牛久一中体育館

広場、空手道が東洋大附属牛久高校と県立牛久高校の体育館を使用する。

(教育委員会次長) 新設される武道場は、県南地区全体に広く利用を呼び掛けていく。また、新設される牛久一中体育館の活用は、空き期間において貸し出しを検討する。牛久運動公園野球場は、市内団体の利用がない場合、貸し出し可能である。

マに掲げ、既存の製薬会社と提携し漢方をよりどころとするハーブ園等を整備してはどうか。

## 市政に対する一般質問

秋山泉議員



(質問) 夜眠れず朝起きられない状況が持続すると不登校になるケースがある。現在長期欠席している児童、生徒数は。

(質問) 子供たちの睡眠の乱れによって「小児慢性疲労症候群」を発生する可能性がある。睡眠への意識を高め、生活習慣を改善する必要があるが、睡眠教育が重要と考えるが。

(答弁) 睡眠を十分とする習慣をつけることも、食育と同じように重要なことと考える。小学

(質問) 国保加入者、後期高齢者を対象とした割安料金で宿泊できる施設との提携状況は。



みんなくハンドブック

### 睡眠障害対策

よる長期欠席者は50人。家庭の事情による欠席

校では、休養と睡眠が大切なこと、中学校では、適切な休養及び睡眠によって、疲労を蓄積させないことを学んでいる。子供の成長には、食育と共に睡眠教育も大切であると考える。

携に依っており、平成30年度から開始する予定となっている。併せて、徐々にではあるが提携事業者の拡大もかかっていく。

石原幸雄議員



### 交流施設の整備

(質問) 今日の人口減少社会ではいかに人口増をはかるのが最大の課題であるが、そのためには本市への定住につながるような魅力ある交流施設の整備が不可欠である。そこで一例として健康をテ

(質問) 公共工事に関わる一般競争入札参加

(市長) 地場産業育成の観点から、時間枠を過去15年ないし20年に緩和すべきと考えるがどうか。

(総務部次長) 今回の発注分から、工事案件ごとに、過去15年から20年かを判断していく。



市内公共工事現場

一般競争入札参加資格の要件緩和

資格要件の一つとして、過去10年以内の公共事業の施工実績を求めているが、この要件では入札に参加できない市内業者が多い。故に、より多くの市内業者が受注の機会に恵まれるよう、その要件を過去15年ないし20年に緩和すべきと考えるがどうか。

資格要件の一つとして、過去10年以内の公共事業の施工実績を求めているが、この要件では入札に参加できない市内業者が多い。故に、より多くの市内業者が受注の機会に恵まれるよう、その要件を過去15年ないし20年に緩和すべきと考えるがどうか。

柳井哲也議員



うしく菊花公園の未来図

(質問) 民間の力で創られた菊花公園を見た感想は。

(教育部長) 牛久の名のついたものや多くの種類の菊が色鮮やかに植えられており、牛久市の観光PR上とても有効である。

(質問) 菊のまちとなるよう育てていくべきでは。

(答弁) 菊まつりとして後発の牛久市は、何らかの形で他との差別化を図っていく必要がある。未来図については、市全体における公共施設整備計画との調整などを行った上で検討することになる。

(質問) 古典菊や牛久の名のついた20種以上のスプレー菊、クツ



うしく菊花公園

(市長) 熱心な菊作りでいろいろな品種開発もやっておられ、牛久の大きな観光戦略にな

ると思われるが、調整すべき点も多々あり、菊花会の皆さんと一緒にどう進めるべきかを考えていきたい。

市の監査の状況と課題

(質問) 財政援助団体の監査はどのような団体が対象で、近年の監査結果はどうか。

(監査委員事務局長) 補助金等の交付を受けている団体や、4分の1以上の出資を引き受けている法人、指定

管理者等が対象となる。今年度の監査の結果は概ね適正に執行されていた。

与のあり方について全庁レベルで検討する仕組みを考えるよう、監査報告書に記載して

し、控除額6704万円、返礼品に1513万円で、収支は約5千万円の赤字となった。

再考の時期にあるふるさと納税

(質問) 寄附の収支金額の推移と今後の課題は。

(答弁) 金銭的な補助機能は働かないのでは。行っている団体に対し、市職員が補助金の交付を受ける団体の会計事務も行って

27年の寄附額が3515万円に対し、控除額が3300万円、返礼品に1666万円で、収支は約1500万円の赤字となり、平成28年は寄附額3199万円に対

山本伸子議員



し、市職員が会計事務等の人的な補助も行うことについては検討する必要がある。市の関

ふるさとと応援寄附返礼品

品名	数量	単位	価格	備考
25	みそシフォンケーキ	1個	10,000円	目じりつぶしシフォンケーキと、キャラメルのような濃厚みそアイス。柚子が香るあまじきルクレースのマイタイオリジナルスイーツセットです。
26	こだわり味噌味噌スイーツセット	10,000円	10,000円	お城島の特別栽培産物の味噌を使用した「河津米みそ」や、厳選した素材で仕込んだ味噌漬、二重揚げしたヤママイチ味噌揚げ、味噌アイスセットです。
27	こだわり味噌味噌おかず味噌セット	10,000円	10,000円	お城島の特別栽培産物の味噌を使用した「河津米みそ」や、厳選した素材で仕込んだ味噌漬、二重揚げしたヤママイチ味噌揚げ、味噌アイスセットです。

今後この傾向は続いていくことが予想され、市の財政への影響が懸念される。

市政に対する一般質問

伊藤裕一議員



自治体ポイント

(質問) マイレージからの交換や住民活動参加により得たポイント

(経営企画部長) 水戸

市、笠間市、北茨城市とともに「マイキープラットフォーム運用協議会」に参加し、自治体ポイントの調査研究を行っている。

(質問) ボランティア活動には経費がかかる。健康向上の取り組み等と併せポイントを付与すべきと考えるが。

(答弁) 他自治体では様々な活動にポイントが付与されている。ボランティア活動の経費

調整池の維持管理費の削減の工夫

(質問) 調整池の周辺の草刈り等を含め年間経費の増加が懸念されるので地域の住民や、民間の参画が重要と考

える。また、調整池と公園を一体で管理の必要性がある田宮西近隣公園について考えを伺

常を意識し、市民の方々の協力が有用と考えるので、皆様にご協力をいただけるよう検討するとともに、田宮西近隣公園の調整池部分の除草についても検討していく。

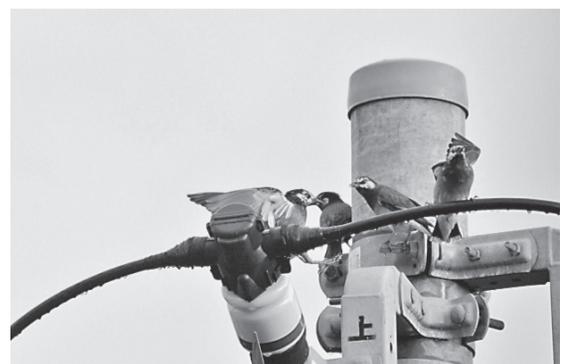
分をポイントとして付与することは、研究に値すると考える。

ムクドリ対策

(質問) 平成27年に我孫子市がタカによる追い払いを我孫子駅、天王台駅で実施した結果、両駅前

でムクドリの姿を確認できないほどの効果があつたとのこと。新たなムクドリ対策を行ってはどうか。

(市長) 過度な追い払いによって、居住空間の近くに移動してしま



電柱にとまるムクドリ

うことや、被害が通年に及んでしまう可能性も指摘されている。関係機関のアドバイスを求めながら、忌避策を模索する。

善、道路の段差改修、U字溝の蓋の不具合の改善。また、ひたち野うしく駅のタクシー乗り場が東西口ともエレベーターから離れた位置にあるので、乗り場の改善等について所見

は。

(経営企画部長) 駅西

口のかっぱ号の乗降位置は高齢化社会への配慮が必要であり、安全対策や一般車通行との構造的な見直しを検討する。

黒木のぶ子議員



高齢者に優しいまちづくり

(質問) 牛久駅西口のかっぱ号乗降位置の改

害獣の駆除



ハクビシン

(質問) ハクビシ

長田麻美議員



### スクールアシスタントの増員を

**(質問)** 近隣自治体と比べ予算が少ない。児童生徒や先生方の負担が大き過ぎるのではないかと考えるがどうか。

共に学ぶ環境を整えることは大切である。

**(教育長)** 学校から多くのスクールアシスタントの要望があがってきている。特に、障害

**(質問)** 増員に向け予算増額をすべきと考えらるがどうか。

**(答弁)** 支援が必要な子ども達や、部活動などの専門性の高い人材を教育に導入するため

がある子、いろいろな事情があり生活習慣が十分に定着していない子が低学年に多く、年々増えていく。現実がある。様々な子ども達が

に充実を検討していく。

子健康手帳サイズなので、挟み込むことを徹底し有効活用していく。



### 乳幼児虐待、子どもの貧困を

**(質問)** 若い世代は情報をスマホなどから取り入れて

いることから、母子健康手帳に子育てに関する情報のURLやQRコードを記載してはどうか。

母子健康手帳は、住所等が変更となっても継続して使用するため、記載しにくい。子育て世代包括支援センター※の直通電話のチラシは母

**掲載以外の質問項目**  
○市内学校の制服  
ジャージのモデル  
チェンジ

※保健師が妊娠、出産、子育て等に関する様々な情報提供や相談を行っている。

### ヘルプカード

#### 平成30年6月導入へ

**(質問)** 自閉症の子どもを持つ母親から東京都に「この子が災害や事故に遭遇した時、周囲の人が手を差し伸べてくれるような東京都を作ってほしい」との声が寄せられ、その手には家族の連絡先や

自閉症の支援方法が書かれた手作りのヘルプカードが握られていたそう。現在、都ではほぼ全域でヘルプカードが導入され、全国的にも波及している。障がいをお持ちの方々が、安全で安心な暮らしができるよう本市において導入を求めるが、

**(保健福祉部次長)** 平成30年の6月から無料にて配布していく。ヘルプカードをカードケ

**(質問)** 入学準備金は必要な時に支給するのが本来の目的に適用と考えるが、

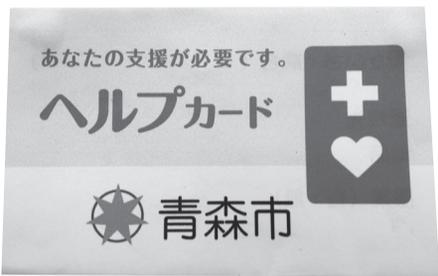
**(教育委員会次長)** 今後は、2月頃に入

尾野政子議員



**(保健福祉部次長)** 平成30年の6月から無料にて配布していく。ヘルプカードをカードケ

**掲載以外の質問項目**  
○ジェネリック医薬品差額通知の  
効果及び費用対  
効果、今後の取  
り組み



ヘルプカード

**掲載以外の質問項目**  
○スマホの投稿アプリで道路破損などの情報取得を  
○断水に備えた避難所トイレの確保を

## 市政に対する一般質問

池辺己実夫議員



### 牛久シヤト一の日本遺産登録申請の現状と今後

**(質問)** 牛久シヤト一の日本遺産認定申請の進捗状況は。

し、日本遺産認定に向けての気運の醸成を図っていききたい。

**(教育部長)** 牛久市と山梨県甲州市の両市職員によるワーキングチームを組織し、平成30年2月の申請に向けて、甲州市と共に文化庁へ

**(質問)** 日本遺産認定申請の今後のスケジュールは。

**(答弁)** 日本遺産ストリーや構成文化財、両市の交流を紹介する

赴き内容をつめていく。また、両市が相互に連携して効果的な事業の展開を図るため、「ワイン文化日本遺産認定推進協議会」を設置



牛久シヤト一

### 再生可能エネルギーによる電力自給率100%超

**(質問)** すでに100%超の市町村は100力所を超えた。新たな地元産業の柱を育成し、住民に電力を安価に安定的に供給し、災害にも強い街として、地域の魅力度アップにも有効では。

**(市長)** 電力自給率の向上を目指すことは、雇用創出や地域住民への安心感を与えるメリットもある。

#### 営農型太陽光発電

**(質問)** 牛久市は耕作放棄地が3・98kmと広い。営農型太陽光発電所は、発電による収入によって、農業経営を安定化させるものと期待されるが、

**(市長)** 牛久市でも、営農型太陽

光発電所のための農地転用許可申請がこのほど提出され、今後、農業委員会で調査し、許可について検討するところ。先進事例を参考に、調査・研究していきたい。

**(教育長)** タイムカードの導入の検討を進めており、早ければ年度内、遅くとも来年度の早い時期に導入できると考えている。

杉森弘之議員



**(市長)** 牛久市でも、営農型太陽

教師の長時間労働是正部会が教職員の長時間労働の是正のために「学校における働き方改革に係る緊急提言」を発表した。市内全小中学校の勤務時間の管理について



営農型太陽光発電。作物に合わせてパネルの間隔を取り、適度な遮光率を実現している。

藤田尚美議員



### 市民の居場所としての中央図書館の運営

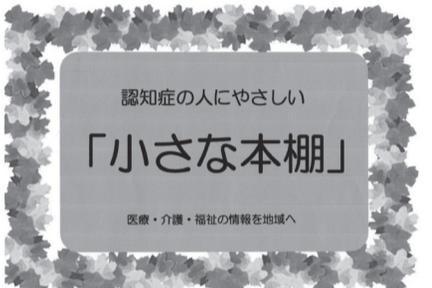
行方中、初期投資やラニングコストなど課題が見え、カフェの実現を目指し、さらに検討と協議をしていく。

(質問) 認知症の人に

(質問) 図書館に居場所カフェ設置に向けての進捗状況は。  
(教育委員会次長) 市民からも飲食物の販売や屋外トイレ設置の要望を受けている。今年度においては、カフェ設置にむけての協議を

も手厚い配慮として、分類されている書籍を一括にして「認知症の人に優しい小さな本棚コーナー」を設置し、情報提供をしようか。  
(市長) 「認知症の人に優しい小さな本棚コー

ナー」を今年度中に新設していく。また、職員の認知症への理解と知識の習得を図るため「認知症サポーター養成講座」を受講し、オンラインリングの取得を進めていきたい。



認知症本棚の表示 (川崎市立宮前図書館)

### 設置を

(質問) 家庭環境に課題を抱えた児童生徒の支援にむけて、スクールソーシャルワーカーの設置を検討してはどうか。  
(教育長) 来年度、教育センターきぼうの広場に配置し、児童生徒

の福祉的な問題解決をより一層進めていく計画である。

### 市内活性化につながる観光戦略を

(答弁) 官民協働コミュニティを設立しDM

(質問) 今後の具体的な観光事業は。  
(環境経済部次長) 牛久沼周辺の広域連携、商工会青年部のピザ事業支援など。  
(質問) 官民連携が重要だが、DMO※などはどう考えるか。

Oに発展させたい。  
(質問) シヤトーの日本遺産申請認定への進捗状況は。  
(教育部長) 甲州市と30年2月に申請。インバウンドなどの効果を見込んでいる。  
(質問) 観光戦略の担当課を変更されているか。

のたのためのワンストップ観光拠点になるSA、PA、スマートIC設置の考えは。  
(建設部次長) 可能性があるので、調査研究する。  
(質問) 認定こども園への移行のメリットが大きいと考えるが、調査研究し、検討をしていく。

(質問) 旧第一幼稚園園舎撤去の費用とその時期は。  
(教育部長) 約2560万円で予算要求をしている。

甲斐徳之助議員



(総務部長) 広報政策課と商工観光課が連携する。  
(質問) 誘客

(質問) 旧第一幼稚園園舎撤去の費用とその時期は。  
(教育部長) 約2560万円で予算要求をしている。



牛久市観光協会パンフレット

## 市政に対する一般質問

遠藤憲子議員



### 女性の貧困問題の実態把握

8人で約226万円、65歳以上は約98万円。  
(質問) 市民税、国保税等の滞納で把握は。  
(答弁) 納税のみで貧困の把握は難しい。

生活費、住まい、食べ物がないなどの相談が寄せられている。住居確保給付金の活用や関係機関などと連携し支援に努める。



牛久市男女共同参画推進基本計画

(質問) 見えにくい女性の貧困。生涯未婚率が高いという給与所得300万円以下では。  
(総務部次長) 29年度課税台帳では64歳以下女性約209万円、単身者505人約303万円。母子家庭31

自治体の取り組みのあり方、支援と見守り  
(質問) 相談支援での最初の窓口は。  
(保健福祉部長) 生活困窮者の相談は27年度から社協に委託。28年度は126件。収入や

(質問) シェルターの提供、母子生活支援施設等DV相談の状況は。  
(答弁) 28年度のDV相談は20人、のべ55件。貧困問題に対する男女共同参画の考え方は。  
(質問) 「貧困問題は女性問題」であり、男女共同参画の推進が不可

欠だが。  
(市民部長) 社会全体の問題として共通認識しており、情報の共有、連携を強化。  
(質問) 女性に対するあらゆる暴力根絶への考え方は。  
(答弁) 今年度策定の基本計画で暴力根絶の取り組みを継続。

### 放課後児童クラブの充実を

員129人を任用しているが勤務時間が14時

(質問) 児童クラブの入級児童は急増する一方で、支援員の確保が難しいと聞かすが、現状と課題は。  
(教育部長) 入級児童数は今後も増加の予測で、一番の課題は支援員の確保。支援

19時と特殊なため、慢性的な人手不足だ。  
(質問) 支援員の処遇改善の取り組みは。  
(答弁) 平均報酬額は時給1015円で昇給制度もある。今後改善検討の余地があると考えている。

は将来的にどのように考えているか。  
(市長) 教育は業務委託になじまない。地域の元教員などに関わってもらいたいと考える。  
(質問) 市民の足の確保は福祉的課題。かつば号の充実と近隣市町との相互乗り入れの取り組みは。  
(経営企画部次長) かつば号の利用者は、平成27年度は3年前に比して約10万人増の約29万人となったが、現在は横ばいから減少傾向にあるため、本年

度中にアンケートを実施し、原因を調査したい。広域連携相互乗り入れとしては、稲敷エリアとバスとの乗り継ぎ、奥原町地内を通過する稲敷市のバスがある。今後も広域連携を図り情報収集・交換を行っていく。

鈴木かずみ議員



(質問) 全国的に児童クラブを企業等の民間に業務委託するとところが増えているが、市で



岡田小児童クラブ



株会議録センター

手に取りたくなくなる議会だよりを目指し、実際の議会だよりを使って、効果的なレイアウトや見出しのつけ方について研修を

(株会議録センター)で編集の基本を学ぶ

10/16~17

広報常任委員会視察研修報告

受けた。

議会だよりは議会や議員の活動を市民に知らせ、理解を深め市政への関心をもってもらうことと、市や議会の活性化につながることにその役目がある。

情報公開の手段が多様化しているなかで、全戸配布の議会だよりが果たす役割は大きいだけに、市民目線でもっと読みたくなる紙面づくりを模索していきたい。

大船なリニョアル増殖小川の「おがわぎ」

今年度の町村議会広報全国コンクール、編集・デザイン部門で奨励賞を取った小川町の議会だよりは、まるで情報誌のような印象である。

【議会だより編集の基本】

議会だよりの役割 発行の目的

議会だより発行の目的は

- 情報公開 決定事項や議会・議員の活動状況を知らせる
- 理解 市民の代表機関である「議会」に対する理解を深めてもらう
- 活性化 市政への関心→自治意識の向上

研修資料の一部

受益者負担の原則

(質問) 受益者負担の原則を捉えているのか。

られないことになる。

また、生涯学習センター

ター有料化を検討しているようだが、議会答弁は市民に利用を広げるため無料化を続けるとしていた。矛盾している。現施設は貸館業務で一般市民が気軽に

利用できる施設とはいえない。憲法、教育基本法、地方自治法から、基本的人権、公共の福祉、地方自治の本旨に基づき有料化の検討はすべきではない。必要のない公共事業など無駄と思われるもの、利用価値に疑問が残る塩漬けの土地など優先的に解決すべき事がある。受益者負担の原則は上から目線。市民の立場で検討すべき。

(経営企画部長) 地方自治法では施設の使用料を徴収することができるとある。全市的な考え方を、公共施設等総合管理計画の中で検討する。

利根川英雄議員



税地方税合わせて一人当たり年間約60万円。4人家族で約240万円。茨城県

の平均所得は約500万円。所得の低い人は利益を受けられないことになる。



中央生涯学習センター

常任委員会の視察研修報告



市原市

行間広めで読みやすい文字、大きめの見出しと適度な余白で見やすい紙面、専門用語には解説をつけてやさしい表現に努め、町民に登場してもらおう場面づくりなど、若い人にも手に取ってもらえる様々な工夫がされており、学ぶことが多くあった。

千葉県市原市

10/24

総務

地域公共交通の中で、コミュニティバス、デマンドタクシーの取り組みを視察した。研修内容は導入経緯、事業内容、成果と課題である。2年前に市は、交通空白・不便地域対応で国土交通大臣表彰を受賞している。市は交通空白・不便地域の公共交通の構築にあたり、役割を明確にするための制度を導入、

①構成員は住民のみで住民主体を明確化。②市の補助は運行経費の2分の1を上限とし、不足分は地域が負担。1世帯あたりの負担金、登録料の徴収。③寄付・賛助金の獲得。④当事者意識の醸成。⑤財政的、人的支援で交通施策の制定を掲げた。

コミュニティバスは2路線、デマンドタクシーは3地区で取り組まれている。運営協議会を定期的に開催。徹底した議論による合意形成、人材の確保、創意工夫など地域で支える努力による成果の一方、課題も多く、今後の参考としたい。

大阪府茨木市

11/13~14

教育民生



茨木市の放課後子ども教室

放課後子ども教室と児童保育の視察を行った。放課後子ども教室の運営の特徴は、地域の人が実行委員会の組織を作り、安心安全な子どもの居場所づくりのため実施日や活動内容を決めて実施していることだ。実行委員会のメンバーは子ども会、PTA、自治会などに広く呼びかけている。本市も今後子ども教室を更に充実したものとして取り組むためには、地域での体制作りが課題であると感じた。

大阪府枚方市

ひらかた生き生きマイレージについて話を伺った。地域の介護力を高める目的として介護予防ポイント事業を平成26年4月より導入。施設での傾聴や行事の手伝いなど、身体介護を伴わない活動をした人にポイントを付与し、貯まったポイントを商品券などと交換できる仕組みだ。地域の中で活動する人を増やすため、このようなポイント事業に取り組み必要性があるのではないだろうか。

宮城県石巻市

10/12~13

産業建設



石巻市

公共交通を視察。市では、応急仮設住宅や旧避難指示区域の小高区、原町区で生活する高齢者などへの交通手段を提供し、一時帰宅や帰還住民の買い物、通院などの日常生活への不便解消のためジャンボタクシーを運行。一時帰宅は無料、シャトル便は200円、地区外は500円。震災前の先進事例だった、おだかeまちタクシーの復活を望む市民の要望で一部復活。費用は年間2億円で国の復興支援金を充てている。

福島県南相馬市